

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1970101174		
法人名	社会福祉法人 日新会		
事業所名	グループホームあかし		
所在地	甲府市上町2473		
自己評価作成日	平成23年10月 1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=19
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会		
所在地	甲府市北新1-2-12		
訪問調査日	平成24年2月14日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者一人ひとりが有する能力を最大限に活かし、役割や生きがいを持ち生活している。また、様々な場面で高齢者としての尊厳を尊重している。また、少しずつ老化していく日々を受け止め共有しながら、看取りも行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

周辺を畑に囲まれた、閑静な住宅地に建物がある。吾番館、式番館と同じ敷地内に2つのグループホームがある。吾番館のホールが広く、イベントなど双方の交流会を行なっている。壁には、イベント時の写真が飾られ、楽しく過ごしている様子が窺える。毎月、発行される「グループホーム便り」を、自治会にお知らせしている。便りの中には、月の行事予定、認知症のお年寄りの介護の仕方、運営推進会議に参加のお誘いなどグループホームの様子を発信している。地域のお店の利用者の受け入れ等の協力があり、月2回の外食が行われている。利用者家族の会があり施設内の草取り等奉仕活動を行い、家族間の交流も出来ている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

事業所名 グループホームあかし

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(壱番館)	ユニット名(貳番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「明るく・楽しく・自分らしく・地域とともに歩む」を基本理念に掲げ、意識しながら取り組んでいる。	「明るく・楽しく・自分らしく・地域とともに歩む」を基本理念に掲げ、意識しながら取り組んでいる。	朝の申し送り時に唱和している。創設時から継続している理念の変更について、職員と話し合い、今の基本理念にたどりついた。日々笑顔をやさず、利用者一人ひとりに合わせた支援をしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩や買い物、また地域行事に参加している。ホームで行われるイベントに地域の人を招待している。	回覧板を通し、ホームでお様子を知らせている。	クリスマス、納涼会に地域の消防団、婦人部の方々を招いて利用者と交流している。自治会に加入し、GHだよりを地域に回覧し様子を伝えている。利用者と一緒に回覧板を持っていたり、同じ組の美容院に行くなど地域との関係が出来ている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	回覧板に「認知症の対応」を書き、認知症の理解を広めている。	回覧板に「認知症の対応」を書き、認知症の理解を広めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	節電や脱水の話しで、意見が出てすぐに取り組むことができた。	節電や脱水の話しで、意見が出てすぐに取り組むことができた。	2か月に1回開催している。月の行事予定、災害時の避難場所(小瀬スポーツ公園)を家族に知らせておく。アルツハイマーの治療薬の情報等意見交換をしている。節電では、廊下の電気を半分消す、緑のカーテン(ゴーヤ)などに取り組んだ。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議議事録を送り、観覧してもらっている。	運営推進会議議事録を送り、観覧してもらっている。	市の担当者には、運営推進会議の議事録を送付している。災害時の避難受入施設として市から委託されている。また、ボランティア(ふれあいサポーター)の受け入れの委託も受けている。	市の担当者に議事録を送付した旨の電話連絡をしたり、合同研修会開催等の依頼を働きかけるなど、市担当者との協力関係を更に深めていくことを期待したい。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束排除宣言を掲げ、徹底して拘束ゼロに取り組んでいる。	身体拘束排除宣言を掲げ、徹底して拘束ゼロに取り組んでいる。	職員会議等折に触れ、身体拘束・スピーチロックの確認をし、意識づけがされている。言葉遣い、接遇についての研修は常にしている。気づいた時には、職員同士で注意している。玄関も日中は施錠していないが、出て行く利用者はいない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止についての研修を行い、虐待を行っていない。	高齢者虐待防止についての研修を行い、虐待を行っていない。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を行っている。1名が成年後見人制度を利用している。	研修を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(壹番館)	ユニット名(貳番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約をする際、説明を行い同意を得ている。	契約をする際、説明を行い同意を得ている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	アンケートを実施している。また、面会時に要望を聞くようにしている。	アンケートを実施している。また、面会時に要望を聞くようにしている。	クリスマスや納涼会に家族が来訪した時など、要望用紙を渡し意見を聞いている。希望を出しやすいように、玄関の外に箱が置かれている。利用者家族は、担当してくれる職員が判っているの、意見等言いやすい関係が出来ている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日、職員ミーティングを行い意見があればその都度話し合っている。	毎日、職員ミーティングを行い意見があればその都度話し合っている。	職員会議は、2か月に1回開催している。業務について(早出・日勤・遅出・夜勤)の話し合いがもたれ改善された。毎日、職員ミーティングが行われ、会議録も全職員押印し情報を共有している。入居者ノート・業務ノートがありケアに反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	ボーナスを職能に応じ支給している。	ボーナスを職能に応じ支給している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実態と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修を積極的に受けてもらっている。	法人内の研修を積極的に受けてもらっている。また、外部で必要な研修への参加を促している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会の研修に出席し、交流を図っている。	グループホーム協会の研修に出席し、交流を図っている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人と面談し、意向を聞いている。	入居前に本人と面談し、意向を聞いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に家族と面談し、意向を聞いている。	入居前に家族と面談し、意向を聞いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	在宅の場合、ケアマネジャーから情報収集している。	在宅の場合、ケアマネジャーから情報収集している。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(壹番館)	ユニット名(貳番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る能力の把握に努め、教えてもらう機会を作っている。	出来る能力の把握に努め、教えてもらう機会を作っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事に参加してもらったり、面会時には情報を共有し、家族しかできないことはお願いしている。	行事に参加してもらったり、面会時には情報を共有し、家族しかできないことはお願いしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出時、思い出の場所へ行っている。	住まいが近くだったデイの利用者が遊びに來たりしている。	長く入居している利用者にとっては、グループホームが馴染みの場所になっている。一人暮らしだった利用者は、不安な思いがあり帰りがたがらない。利用者が以前住んでいた周辺を、外出の場所に決めるなど、支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲が良い入居者同士を同じテーブルにしたり、面倒見がいい入居者に他入居者の世話をしてもらっている。	職員が間に入り、話しやすい環境を作っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ターミナルで亡くなるので、その後は連絡を取り合っていない。	他施設に行った入居者に会いに行く機会を作っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	担当職員を決め、本人の代弁者になっている。	担当職員を決め、本人の代弁者になっている。	個人的に新聞を取って購読している利用者もいる。毎日の介護記録の記入によって、利用者の思いや意向を把握している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に家族や本人から生活歴を聞き、把握している。	入居時に家族や本人から生活歴を聞き、把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居時に家族や本人から一日の過ごし方を聞き、その人なりに生活できるよう支援している。	入居時に家族や本人から一日の過ごし方を聞き、その人なりに生活できるよう支援している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の意見を取り入れ、介護計画を作成している。	本人・家族の意見を取り入れ、介護計画を作成している。	介護記録を基に担当職員が1か月に1度モニタリングし、3か月に1度見直し、介護計画を作成している。状態が変わった時には、必要に応じて計画の見直しをしている。座位で傾きのある利用者には、家族の要望で「いざる」事を取り入れた。	

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(壹番館)	ユニット名(貳番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録や、毎日のカンファレンスで気付いたことを話し合いケアに活かしている。	ケア記録や、毎日のカンファレンスで気付いたことを話し合いケアに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	歯科受診や買い物援助を行っている。	必要に応じ、訪問マッサージを取り入れている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買い物支援を継続して行っている。	入居前から利用している美容院へ行けるよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	嘱託医が週2回、回診に来ている。また、ターミナルケアを行っている。	嘱託医が週2回、回診に来ている。また、ターミナルケアを行っている。	歯科医、皮膚科は家族対応でかかりつけ医の受診となっている。職員が付き添って行った場合の受診結果は、電話にて家族に報告し共有している。ターミナルケアを行っているため、家族が希望した利用者は、嘱託医の診療を受けている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	何かあれば嘱託医に連絡し、状況に応じ看護師が対応してくれる。	何かあれば嘱託医に連絡し、状況に応じ看護師が対応してくれる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、情報提供を行っている。	入院時は、情報提供を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	緊急時の対応を家族から聞いている。全ての家族が、ホームでのターミナルを望んでいる。	緊急時の対応を家族から聞いている。全ての家族が、ホームでのターミナルを望んでいる。	今までに9名の看取りを行った。半年毎の健康診断結果を家族に報告し、緊急時の確認をしている。ターミナルケア、死亡時のマニュアルがあり、死後の処置は全職員で行っている。嘱託医は24時間対応してくれ、重度化しても支援することができる。また、入浴も二人で介助し可能である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急法の研修を受けている。	救急法、AEDの研修を受けている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	昼夜を想定した避難誘導訓練を行っている。	昼夜を想定した避難誘導訓練を行っている。	避難経路は、壁に貼ってある。敷地内の全事業所で年2回、グループホーム単独で、年2回実施している。地域の消防団の協力体制や近所の家との連絡、職員の応援要請等職員が把握している。緊急通報システム、スプリンクラーが設置してある。	

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(壹番館)	ユニット名(貳番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーについての研修を行い、プライバシー保護に努めている	プライバシーについての研修を行い、プライバシー保護に努めている	研修を行い、一人ひとりにあった言葉かけをしている。キリスト教の利用者は、食べる前にお祈りをしている。大工さんだった利用者等、利用者の生活歴を尊重した対応をしている。居室に入る時は、声掛け、ノックをしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	様々な場面で、話しを聞く機会を作っている。	様々な場面で、話しを聞く機会を作っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の意見を聞き支援している。	本人の意見を聞き支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服を本人に選んでもらったり、行事などには化粧をしたりしている。	洋服を本人に選んでもらったり、行事などには化粧をしたりしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理する人・盛り付ける人・片付ける人等、できる力を把握し一緒に行っている。	調理する人・盛り付ける人・片付ける人等、できる力を把握し一緒に行っている。	献立は、特別養護老人ホームの管理栄養士に依頼しているが、利用者の好みにも変えることもしている。調理の手伝いやお茶入れ、盛り付けなどできることをしている。職員も見守りながら一緒に食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事チェック表で把握している。	食事チェック表で把握している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行えるよう支援している。	毎食後、口腔ケアを行えるよう支援している。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを把握し、オムツゼロを実践している。	排泄パターンを把握し、オムツゼロを実践している。	昼・夜おむつ使用の利用者はいない。排泄チェック表を基にトイレ誘導をしている。1日のトイレ誘導担当が決められていて、細やかな対応が来ている。声掛けも、トイレという言葉は使わず「一緒に行きましょう」など工夫している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヨーグルトや牛乳、食物繊維が多い食品を提供している。	ヨーグルトや牛乳、食物繊維が多い食品を提供している。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(壹番館)	ユニット名(貳番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	便失禁時に入浴を行えるようにしている。	午前中に入浴専門スタッフを確保し、ゆっくり入れるよう支援している。	毎日、入浴は可能であるが、1日おきに希望の時間に入浴している。他に便失禁時に入浴している。入浴を拒む利用者には、タイミングを見て声掛けをしている。入浴ノートがあり、一人ひとりの入浴時の様子が記録しており、職員が共有している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	傾眠時には横になれるよう支援している。	眠れない入居者が居れば、添い寝をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誰が何の薬を服薬しているか、また副作用についても把握している。	誰が何の薬を服薬しているか、また副作用についても把握している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	飲酒や、散歩等の支援をしている。	喫煙の楽しみを支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	家族も一緒に外出できるよう支援している。	地域の協力もあり、外食の機会を作っている。	年間の外出計画を作成し、家族会で報告している。毎回、付き添う家族もいる。お天気の良い日の午前中、希望する利用者と施設の周辺を散歩している。週2回、日用品・食料品の買い物や、月2回、昼食の外食などの外出支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分でお金を持っている入居者もいる。買いたい物があれば一緒に買い物へ行っている。	買い物時、自分で支払いをしてもらっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族に連絡して欲しいときには、代わりに掛けている。	携帯電話を持っている入居者がいる。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	温湿度計で不快がないよう管理している。清潔にも心がけている。	温湿度計で不快がないよう管理している。清潔にも心がけている。	玄関を入った所が、広いリビングで、食卓・台所がワンフロアになっている。調理台も利用者が作業できるよう低くしてあり、配慮されている。一部に畳が敷かれ炬燵がある。窓からは、前の畑が見渡せ季節を感じる事ができる。加湿空気清浄機が置かれ、過ごしやすい環境を作っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	椅子以外にソファがあり、好きなところに座って寛いでいる。	椅子以外にソファがあり、好きなところに座って寛いでいる。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(壹番館)	ユニット名(貳番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	寝具・カーテン・タンス等を持ち込んでもらっている。	全て自宅から持ってきてもらっている。	蛍光灯、エアコン、クローゼット以外は、使い慣れた物を持ち込んでいる。それぞれ、違いがあり居心地良く過ごせるよう、家具等配置されている。居室の入り口には、利用者の名前と担当職員の顔写真が貼ってあり、利用者・家族にも配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の入り口やトイレが分かるようにしている。	居室の入り口やトイレが分かるようにしている。		